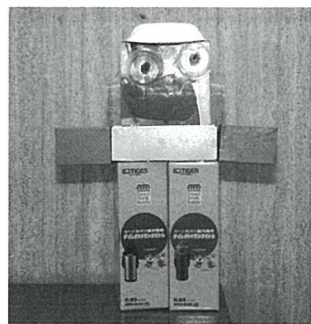




1年
伊藤 美夏さん



『ぼうしをかぶった
□ボット』

※はことカップ
で、□ボット
をつくったよ。
かわいいぼう
しをかぶせた
よ。

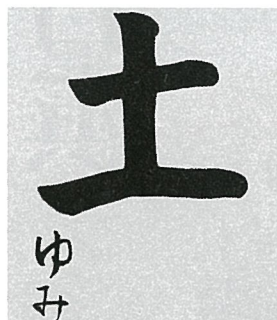


2年
藁谷 紗綺さん



『ふわりん
ピロリン星人』

※ふわふわな材
料は、とても
気持ちよかつ
たよ。顔や体
がかわいくで
きたでしょ。



3年
伊藤 優美さん

※わたしは、習
字が大好きで
す。毎週木曜
日に先生にお
しえてもらっ
ています。



『ゴーストハウス』



4年
斉藤 拓巳さん

※クリスタルボツ
クスに合う絵
を工夫して、
セロファンを
はるのを頑張
りました。



5年
實川 奈那さん

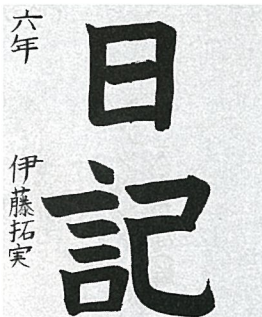


『氷の国』

※リキッド粘土
に色を塗った
り、布につけ
たりして、リ
アルさをだし
ました。



6年
伊藤 拓実さん



※「記」の字のハ
ランスをとる
のがむずかし
かった。筆の
入りはうまく
できた。

あつまれ みんなの 力作



ひかり歌壇



伊藤 定男(尾垂)

山里に来てホトトギス初に聞く

夏冬住むと里人の云う

山里でホトトギスの初鳴きを聞いたが
夏冬なく住んでいるとのこと

土屋 好(虫生)

穏やかな温もり残して山里の

早くも灯る晩秋の宵

温もりに包まれながら
山里は暮れていく

高梨 キヨ(長塚)

聞き馴れぬ囁りにふと手を休む

プラムの枝に遊び回るらし

聞きなれぬ囁り プラムの枝らしい

安田 和子(作間内)

旧姓を離れて早し五十余年

夫と生き来て老鶯の啼く

夫と共に五十余年の歳月を過した。
老鶯が祝福するかに啼いている

越川 義則(二又)

旅に出て一夜の宿のくつろぐも

晩秋空を湯船の中で

旅の宿でくつろぐ晩秋の湯船最高である

越川 福子(宮内)

放映の八十路が人の舞姿

溢るる艶姿何が哀し

八十路を過ぎた人の舞姿
あてやかではあるが哀しい気持ち

評者詠

鈴木甲子幸

東満の荒野に共に駆り出されし
戦友と欲談日の暮るるまで